



病棟: _____ 様

治療方針: 胸部外傷保存的治療(外傷性血気胸・血胸・肺挫傷・肋骨骨折の治療)Ver.2

特別な栄養管理の必要性: 有・無

主治医: _____

担当看護師: _____

患者様サイン欄: _____

ご家族様サイン欄: _____

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日 ~
	入院日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目以降
安静度 リハビリ 退院	<p>基本的に院内自由ですが、病状に応じ活動を制限することもあります。 リハビリを継続し、退院後の生活に備えます(リハビリ部門介入を希望されない場合は、お申し出ください)。</p>					
食事	<p>食事制限はありません。(高血圧・糖尿病・腎不全などの方は、治療食をお出しすることがあります。)</p>					
注射 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・病状に応じて、モニターをつけて経過観察を行うことがあります ・病状に応じて、抗菌剤を点滴・内服する場合があります 					<p>退院に向けて、自宅での生活に近づけるよう努めましょう。できるだけベッドから離れて、手術前の生活に近づけましょう。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも飲んでいる薬は通常通り内服してください(中止するように指示された薬は飲まないでください) ・痛み止めを内服いたします。(痛みが強い場合は、スタッフに相談してください。鎮痛剤追加などで対応いたします。) 					
検査	<p>治療に必要な検査を適宜行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レントゲン(必要に応じて入院中に何回も行います) ・CT ・心電図、採血 など 					
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、胸腔ドレーン(管)を挿入する処置を行います。 ・必要に応じ酸素を投与します 					
清潔 排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・マニキュアを落としてください ・ドレーン(管)が入っていても、洗面台で洗髪は可能です(スタッフに相談してください) ・ひげ剃りを持参してください(電動) ・タオルで体を拭けます ・可能ならトイレを使用してください 					
患者さま および ご家族への 説明	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【胸部外傷: 治療方針や退院の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胸腔内の出血量をチェックし、必要な場合、貯留した血液を抜く処置を行います(血胸の場合)。 ・肺からの空気もれがある場合、空気を抜く管(ドレーン)を入れます。改善した後、胸腔ドレーン(管)を抜去し、レントゲンなどで数日経過観察を行います(外傷性血気胸の場合)。 ・肋骨骨折は、経過観察による自然治癒を目指します。 ・胸部(背部)の打撲により生じた胸腔内の出血や肺からの空気もれが改善し、増悪しないことを確認できることが退院の目安です。 ・痛みに対しては、痛み止めを使用しながら次第に改善していくのを待ちます。 </div>					<p>退院後使用される痛み止め・その他薬剤について薬剤師より説明があります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・入院治療計画について説明があります。 ・処置などについて医師より説明を受けた後、同意書を提出してください。 ・入院中は、ご自身の体調を管理していただくために 私の体調記録を自由に記入してください 					<p>退院について説明があります。入院証明書や診断書が必要な方は、入院中は病棟クラークに、退院後は外来クラークに提出してください。次回受診日は、別紙を参照してください。 外来受付時間: 8時00分~11時30分</p>